

論点整理表（令和2年度業務実績・財務諸表等）

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課																		
1	64-72	質問	最小項目の自己評価のうちA評価が4、B評価が1、C評価が4で小項目自己評価をCにした理由は。	第2期中期計画の重点戦略に掲げる海外の交流提携校との連携事業が軒並み中止となったほか、全学的に国際的な視野に基づく学習機会やプログラムの提供が困難であった状況に鑑み、小項目を「C」評価としたものです。	企画課																		
2	3 (19)	質問	「複合芸術応用論B」の一部について3名の学部生が受講したとあるが、大学院生の受講者数はどうだったか。	当該科目は、修士課程の「複合芸術科目」の区分の中で、複合芸術応用論A、B、Cのうち1科目を選択する選択必修科目であり、1年次の在籍10名中、4名がBを履修し受講しております。	学生課																		
3	8	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	「グローバルインターンシップの単位化に向けた準備に取り組む」について、海外渡航が困難であった状況に鑑み、その準備作業を見合わせたことから、「C」評価としたものです。	企画課																		
4	8	質問	「グローバルインターンシップ」の単位化に向けた準備作業を見合わせたとあるが、準備は可能だったのではないかと見合わせた理由は何か。	当該科目は、外国での活動に対して単位付与を行うものとして想定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により海外渡航が困難な状況となり、授業形態を含め実施内容の全面的な変更が必要となったことから、単位化に向けた準備作業を見合わせたものです。	学生課																		
5	10	質問	外国語技能試験等の成績が単位認定される基準の点数を教えてください。また、基準を満たした場合、授業を受けなくても単位認定を行うということか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4単位</th> <th>6単位</th> <th>評価</th> <th>認定科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実用英語技能検定(英検)</td> <td>2級以上</td> <td>準1級以上</td> <td>認定 合格</td> <td rowspan="3">4単位：英語総合講座 1・2 6単位：英語総合講座 1・2・3</td> </tr> <tr> <td>TOEFL</td> <td>60点以上</td> <td>70点以上</td> <td>認定 合格</td> </tr> <tr> <td>TOEIC</td> <td>550点以上</td> <td>700点以上</td> <td>認定 合格</td> </tr> </tbody> </table> <p>当面は英語の技能試験等（3種類）のみを対象とし、基準を満たした場合、授業を受けなくても単位認しております（評価：合格のみ）。</p>		4単位	6単位	評価	認定科目	実用英語技能検定(英検)	2級以上	準1級以上	認定 合格	4単位：英語総合講座 1・2 6単位：英語総合講座 1・2・3	TOEFL	60点以上	70点以上	認定 合格	TOEIC	550点以上	700点以上	認定 合格	学生課
	4単位	6単位	評価	認定科目																			
実用英語技能検定(英検)	2級以上	準1級以上	認定 合格	4単位：英語総合講座 1・2 6単位：英語総合講座 1・2・3																			
TOEFL	60点以上	70点以上	認定 合格																				
TOEIC	550点以上	700点以上	認定 合格																				

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
6	16	質問	現行入試制度の見直しとは、具体的にどのような内容か。	学校推薦型選抜のうち、一般推薦および特別推薦（県内枠、市内枠）の出願資格について、各校から推薦できる人数を2名までに限定しておりましたが、各校から積極的に優秀な生徒を推薦いただけるよう、特別推薦指定校枠を有する高等学校等以外に係る人数上限を撤廃したものです。また、全入試区分において、調査書や志願者本人が記載する資料を入学者選抜の配点項目に加えることを検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、意欲的な活動や学業に遅れが生じた受験生に配慮し、点数化については実施を見送っております。	学生課
7	17	質問	内部進学者の確保について、入学手続き後に辞退する学生がいたようだが、可能な範囲でその理由を教えてほしい。	本学以外に他大学と併願し、本学合格発表以降に他大学にも合格決定しそちらに進学することとなったものです。	学生課
8	20	質問	リカレント教育や長期履修制度について、もう少し具体的な説明を加えてほしい。	社会人の学び直し教育（リカレント教育）の推進を図るため、社会人学生等が柔軟に履修期間等を選択できるよう、長期履修制度（標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修する制度）や単位累積加算制度を導入・実施しております。 なお、中央教育審議会大学分科会において、人生100年時代に、豊かな生き方を通じたキャリアチェンジやキャリアアップが行われ、職場を離れてから復帰するケースも見込まれることから「働きながら学ぶ」という社会人の学び直し教育（リカレント教育）の推進に向けた方向性が示されております。	学生課
9	25	質問	特待生について、学年ごとの人数の定めなどはあるのか。（また、定めがない場合、例年どのくらいの人数なのか教えてほしい。）	秋田公立美術大学奨学金給付規程に、2年生および3年生は3名以内、4年生は6名以内と規定されております。	学生課
10	26	質問	「海外企画展等への出展が困難な状況に鑑み」と、展覧会への「設営準備作業に学生の参加を募った」との関係がわからない。両者は別のことではないか。	年度計画では、学外企画展（国内の選抜企画展）へ積極的な参加を想定しておりました。首都圏を中心に企画展が軒並み中止となる中、秋田県立近代美術館で開催した本学主催の展覧会は、学生の学びの場としても大きな意義があるものと捉え、準備作業等に広く学生の参加を募ったものです。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
11	27	質問	大学が買い取った卒業研究作品は、どのように保管・活用しているか。また、例年の買い取り数を教えてほしい。	大学が買い取った作品は、アトリエももさだ内の倉庫に保管しております。また、実績はないものの企業等からの求めに応じて貸し出すことも可能としております。 【買取実績】 平成27年度 1件 平成29年度 3件 令和元年度 5件 平成28年度 3件 平成30年度 2件 令和2年度 4件	企画課
12	29	意見	「開催方法に変更が生じた学生イベント」について、どのように変更が生じたのか説明がないと意味が不明。	大学祭については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面形式によるイベント開催が困難となったことから、ウェブ上での開催に切り替えて実施したものです。	学生課
13	30	質問	卒業・修了制作作品の貸出しについて、対外的なPRはどのように行っているか。	卒業・修了制作展に出展した作品の貸出しについては、あきびネット学生作品展示事業において実施しており、例年1月にあきびネット法人会員に対して、貸出案内についての通知を郵送するとともに（令和2年度は143社に送付）、6月開催のあきびネット総会で前年度の展示結果について報告しております。また、企業の社屋等における展示状況については、随時本学のホームページで紹介しております。	学生課
14	32	質問	高等教育の修学支援新制度について、減免の金額や給付の要件など、もう少し具体的に教えてもらいたい。	【減免額】 第Ⅰ区分（満額）授業料（半期）267,900円 入学料282,000円 第Ⅱ区分（2/3）授業料（半期）178,600円 入学料188,000円 第Ⅲ区分（1/3）授業料（半期）89,300円 入学料94,000円 ※減免区分は、半期毎に見直しがあるため、授業料（半期）の金額で記載した（家計急変は3か月毎に見直し） 【給付要件（支援措置の対象となる学生等の認定要件について）】 1 家計の経済状況に関する要件（所得および資産） 2 学業成績・学業意欲に関する要件 3 国籍・在留資格に関する要件 4 大学等に進学するまでの期間に関する要件	学生課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
15	33	質問	新たな給付型奨学金の創設について、具体的にどんな検討を行ったか教えてほしい。	経済的に困窮し進学を断念する学部学生向けの入学料相当額の助成制度や、より優秀な学生を確保するため、地元企業等と連携したスカラシップ制度の仕組み等について検討を重ねております。	学生課
16	35	質問	進路希望者数とはどういう意味か。卒業生数と同一ではないのか。	在学中、希望進路について明確に意思表示を行った者を指しております。卒業予定者の中には、就職・進学・作家等を希望する者の他、卒業後に進路検討を行うこととした者や進路未定の者もあり、在学中全員の希望進路決定には至っておりません。なお、卒業生93名のうち、在学中に上記意思表示を行ったのは、81名となっております。	キャリアセンター
17	38	質問	学生寮の整備の実現の「本気度」について伺いたい。	入試説明会やオープンキャンパス等において、来場する学生やその家族から、学生寮に関する問い合わせを受けるケースが多く、低廉な価格かつ安全安心な居住環境に対する一定のニーズがあるものと捉えております。一方で、立地場所や運営形態、新屋エリアの民間アパート・下宿との共存等の検討すべき事項も多く、慎重に議論を進める必要があると考えております。	学生課
18	38	質問	自宅以外からの通学者は現在どれくらいの割合なのか。また、学生寮の規模はどのくらいを想定しているか。	自宅以外からの通学者は、82.3% (371/451名) となっております (令和2年5月1日時点)。学生寮の規模については、具体的な部屋数・収容人数は検討中であり、新屋エリアの民間アパート・下宿の経営を圧迫しない程度の規模を想定しております。	学生課
19	39	質問	「学生生活支援を所掌する学内委員会」の役割を担っている現在の体制について伺いたい。	これまで教務、学生生活支援を所掌していた学務委員会を分割し、令和3年度以降、教務部門は教務委員会、学生生活支援部門は学生生活委員会で所掌する体制に改組したものです。	学生課
20	45	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
21	45	質問	C評価である理由は。 また、科研費が1件（3,770千円）採択されたとあるが、資料編の該当箇所はどこか。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。 なお、獲得した科研費は、資料編P7「外部資金一覧」中、「他者のカメラワークを再現する撮影支援ツールの開発とメディア教材としての応用（萩原健一准教授）」が該当します。	企画課
22	48	質問	動画講座の視聴率が11.9%と低調である。大学にとって外部資金の獲得は重要と思うが、このことについて大学としてはどう捉えているか。	第2期中期計画の重点戦略に掲げる研究活動の支援として、科研費をはじめとする外部資金の獲得に資する各種取組を積極的に展開しております。令和2年度から動画講座の視聴を導入したものの、学内のアナウンス不足により視聴率が低迷したものと捉えております。	企画課
23	58	質問	最小項目の自己評価をSとした理由は。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。 当該項目については、目標数値を上回る実績であったことを踏まえ「S」評価としたものです。	企画課
24	60	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	大学コンソーシアムあきた主催の高大連携事業が1科目のみの開講となったほか、4大学連携事業の開催を見送ったことから、「C」評価としたものです。	企画課
25	60	意見	4大連携事業→4大学連携事業	ご指摘のとおり、「4大学連携事業」と文言を改めます。	企画課
26	61	意見	「上越教育大学と大学院学校教育研究科専門職学位課程多様な教員人材育成修学プログラムを履修する覚書」が読みにくい、覚書名があれば、それを「」で引用した方が良いと思われる。	ご指摘のとおり、正式な覚書名である「上越教育大学大学院学校教育研究科専門職学位課程多様な教員人材育成修学プログラムの実施に関する覚書」、「宮城教育大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）入学者選抜（選考）試験における特別選抜（選考）に関する覚書」と文言を改めます。	企画課
27	63	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
28	63	意見	「教育機会」は「学習機会」ではないか。	ご指摘のとおり、「学習機会を提供した」と文言を改めます。	企画課
29	64	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	第2期中期計画の重点戦略に掲げる海外の交流提携校との連携事業が軒並み中止となったことから、「C」評価としたものです。	企画課
30	65	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。	企画課
31	65	意見	「本学独自の語学研修プログラムを企画・実施」できたのであれば、C評価である必要はないと思われる。どのような語学研修プログラムであったのか関心がある。	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。留学エージェントに委託し、オンラインを活用した本学オリジナルの語学研修プログラムを企画・実施できたものの、海外への現地留学が実現できなかったことや参加者が2名に止まったことから、「C」評価としたものです。	国際交流センター
32	66	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、これまで対面で行っていたネイティブスピーカーの職員による英語講座の開催を見送ったことから、「C」評価としたものです。一時オンラインによる開催も検討したものの、授業やサークル活動をはじめ学生生活を維持・確保することを最優先に対応したものです。	国際交流センター
33	66	質問	ネイティブスピーカーの「職員」の本来業務について伺いたい。	交流提携校をはじめとする海外との連絡調整や通訳業務、留学希望者のサポート等、国際交流センターの円滑な運営に必要な業務となっております。	国際交流センター
34	67	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	年度計画では、海外の交流提携校等における学生の研修や交流企画に対する助成制度の創設・実施を想定しておりました。海外渡航が困難な状況に鑑み、当該事業の実施を見送ったことから、「C」評価としたものです。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
35	68	質問	65がCであることとの整合性はどのように説明するのか伺いたい。	年度計画では、他大学を参考に大学が指定する語学学校等での現地滞在型の語学研修プログラムの構築に向けた調査を実施することとしておりました。コロナ禍の中、海外渡航が困難な状況を踏まえ、オンラインを活用した本学オリジナルの語学研修プログラムを企画・実施できたことから、「A」評価としたものです。	国際交流センター
36	74	質問	「将来構想検討WGの提案」について、その概要や、特徴的な内容があれば教えてほしい。	将来構想検討WGは、18歳人口の減少など高等教育を取り巻く環境が大きく変化する中、将来にわたって持続可能な大学運営を実現するための10年後を見据えた本学の望ましい姿について検討を重ねてきたものです。 ※詳細は別途配付の最終報告書をご参照ください。	企画課
37	77	質問	職員の法人採用について、中長期的な目標を定めて進めているのか。 最終的にどのくらいの割合が望ましいと考えているか。	第2期中期計画期間中にプロパー率50%超の達成を目標としており、令和2年度は、2名のプロパー職員を新規採用しております。今後も継続的にプロパー職員を採用し、最終的にはプロパー職員が主体となり、大学運営に参画することが望ましいと考えております。	総務課
38	77	質問	事務職員の法人採用職員率について、母数が23人から27人になっているが、内部監査室以外に運営戦略的な要素は考えられているのか。	内部監査室の設置以外には、秋田市に研修派遣したプロパー職員の補充のため、市派遣職員の総数が1名分減とならなかったことから、結果として令和2年度期首における事務職員数が25人（2年度計画策定時は23人）となったものです。事務局職員の母数27人については令和3年度期首の人数であり、市派遣職員の増員による教務部門の強化や嘱託職員の正職員化による就職支援の強化等に取り組んでおります。	総務課
39	87	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	【連番45再掲】数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
40	87	質問	45と同様、科研費の申請、採択数を数値目標に挙げているため、C評価であるが、「学長プロジェクト研究費の裁量的配分の実施」が計画の内容であれば、ここでは、科研費の申請、採択数を評価の基準にしなくても良いのではないかと。(C評価とする必要はないように思える)	数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。第2期中期計画の重点戦略に掲げる外部資金の獲得に向けて、学長プロジェクト研究費の審査にあたりインセンティブ制度を設けているものの、科研費の採択数が数値目標に至らなかったことから、「C」評価としたものです。	企画課
41	88	質問	最小項目の自己評価をSとした理由は。	【連番58再掲】数値目標を設定した項目については、定量的な自己評価を基本としております。当該項目については、目標数値を上回る実績であったことを踏まえ「S」評価としたものです。	企画課
42	92	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学内施設の有償貸付を取り止めたことから、「C」評価としたものです。	企画課
43	94	意見	公立大学法人評価委員会による評価は、第三者評価と位置づけられているはずなので、「外部評価」→「評価」とした方が良いと思われる。また、評価を受けることや、自己評価「システム」の検証と改善だけでなく、その結果、教育研究や大学運営の改善を図った旨の記述があった方が良い。	ご指摘のとおり、「評価」と文言を改めます。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学生支援の充実や、「将来構想検討WGの提案」に基づく基礎教育の改革等に着手しており、今後は自己点検・評価活動を軸としたPDCAサイクルの実効性の向上に向け、自己評価委員会が中心となって内部質保証機能の充実に取り組むこととしております。	企画課
44	97	質問	認知度調査は面白い取組だと思うので、具体的な内容を教えていただきたい。	広報活動を戦略的に展開するための基礎データを収集することを目的として、例年春に実施している「高校生クリエイティブキャンプ」の募集チラシにアンケート用紙を同封したものです。(全国4,778高校に送付し、回収率3.5%(170校))回収率は低迷したものの、全国各地から満遍なく回答があったことから、美術系大学の全国的な志望トレンドや、高校生が本学に抱くイメージ等に関する基礎的な情報が得られたものと捉えております。	企画課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
45	103	質問	学生が経済的に困難であるかどうかの実態について、大学としてどの程度把握できているか。また、必要に応じて大学の独自支援は検討できないものか。	令和2年4月に新型コロナウイルス感染症による学生生活への影響と学生支援のための実態調査を行い、コロナ禍で経済的に困窮している学生のおおよその割合を把握したうえで、令和2年5月に大学独自の生活支援金を支給することとしたものです。なお、当該給付金については、学生から申請を募り、一定の審査を経たうえで、独り暮らしで著しく困窮していると判断された学生19名に対し、後援会およびあきびネットの協力を得て、一人当たり一律50,000円を支給したものです。	学生課
46	106	質問	インターンシップ交渉会は面白い取組だと思っているので、具体的な内容を教えていただきたい。	あきびネットを主とする秋田県内企業における本学学生のインターンシップ参加促進を目的として、授業科目「インターンシップ」履修者を対象に実施したものです。当初は、参加企業ブースに学生が訪問してインターンシップの受け入れを交渉する内容を想定していましたが、コロナ禍によりオンラインでの実施に切り替え、各社のインターンシッププログラムの説明を聞き、質疑応答等を通し企業担当者とコミュニケーションを図るなどしたうえで、後日申し込みを行う形式で実施しております。	キャリアセンター
47	112	質問	最小項目の自己評価をCとした理由は。	ハラスメント防止に向けて学内研修の充実等に取り組んでおりますが、令和2年度中にハラスメント事案が発生したことに鑑み、「C」評価としたものです。	企画課
48	事業報告書	質問	P7の負債について、令和元年度と比較して増加した要因に、未払金の増を挙げているが、その要因は何か。	施設整備費補助金で整備した厚生棟の空調機更新工事（31,900千円）の完了が年度末となったことにより未払金が増加したことが主な要因です。	総務課
49	財務諸表	質問	大学の予算規模や、これまでの目的積立金の額に照らして、今期の当期総利益はこれまでの期より多いのではないかと思うが、主な要因は何か。	支弁人員の減等により人件費が減少したこと、新型コロナウイルス感染症対策等の影響により教職・就職対策、広報・シンポジウム経費等が減少したことが主な要因です。 <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 △36,000千円 ・教職・就職対策・その他教務経費 △15,700千円 ・広報・シンポジウム等経費 △11,600千円 	総務課

No.	連番	区分	意見・質問等の内容	左への対応等	担当課
50	財務諸表	質問	P 9 の図書の当期減少額2,401,737円は、廃棄した分ということか。廃棄の際の科目は何か。また、図書を廃棄する際の基準はどうなっているのか。	<p>図書の当期減少額2,401,737円は、図書を廃棄したことによるものです。廃棄の際の勘定科目は会計基準に基づき図書費を用いて処理しています。</p> <p>廃棄については秋田公立美術大学附属図書館資料除却実施要領に沿って行っており、その種類と対象になる図書は主に次のとおりです。</p> <p>(1) 汚損・破損 劣化や破損がはなはだしく、その修復が不可能な図書又は修復を行う価値がない図書</p> <p>(2) 亡失 事故・災害等の理由により亡失した図書</p> <p>(3) 不用 年月の経過により利用価値を失い、保存の必要がないと認められた図書など</p> <p>(4) 認定 蔵書点検により所在不明が明らかとなった図書であって、翌年度以降継続して3回の点検の実施によってもその所在を確認できないものなど</p>	総務課
51	財務諸表	質問	P 11 の未収学生納付金収入について、10,857,000円の増となっているが、その要因と回収の見込みはどうか。また、どういった場合に回収不能見込みと判断するのか。回収不能見込額は、今後、どのような取扱いを見込んでいるのか。	<p>未収学生納付金収入の10,857,000円の増の要因は、R3年度入学者の入学金について、減免申請手続中のものを未収入金として計上したことによるものです。未収入金は令和3年度に免除額を決定した時点で相殺処理を行います。</p> <p>なお、回収不能見込額は授業料の未収入金分を計上したものであり、今後、債権放棄などの手続きにより償却処理を行うことを予定しています。</p>	総務課
52	決算報告書	質問	決算と予算の差額について、水道光熱費等の経費区分の移動の要因は。あらかじめ予算に反映させておくことはできないものか。	<p>光熱水費等については、令和2年度の予算編成のタイミング（令和元年度中）で各経費区分ごとに予算に反映させるまで至らず、当初予算で一般管理費に一括計上しておりましたので、令和2年6月に建物の面積按分に従い各経費区分に振替処理を行っておりました。令和3年度は当初予算から予算に反映させております。</p>	総務課